

薬局・薬剤師さんへ

病院、地域連携室の想い

地域連携 渉外担当の役割

～みなとまち横浜 薬局薬剤師との連携について～

済生会神奈川県病院 医療連携室 1)、済生会神奈川県病院 患者サポートセンター2)、
済生会東神奈川リハビリテーション病院 医事課 3)、済生会東神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科 4)、
済生会東神奈川リハビリテーション病院 看護部 5)

いまがわやすまさ

○今川 康正 1)、佐々木貴子 2)、潮 伸輔 1)、寺元 早紀 1)、北村ルミ子 2)、
濱崎 啓師 3)、鈴木 俊幸 4)、寺見 雅子 5)、江成千賀子 5)

コロナ感染症等
(発熱外来、病床、ワクチン)
渉外担当者の情報収集・提供

一般社団法人

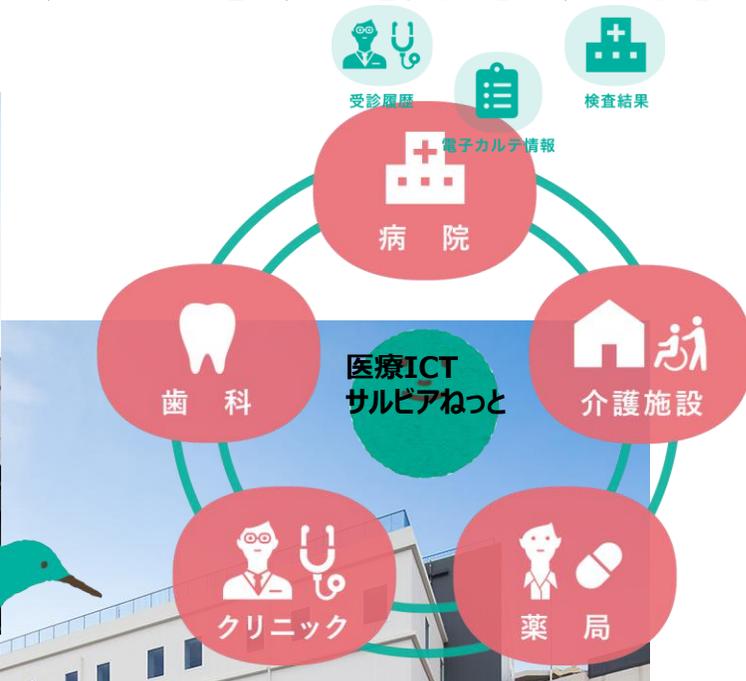
医療連携を推進する会

理事 事務局長 今川 康正



【背景】

横浜市神奈川区、鶴見区には、済生会神奈川県病院の他 2 つの済生会病院が立地、医療連携し、それぞれの役割を担っている。



	東神奈川リハビリテーション病院	神奈川県病院	横浜市東部病院
病床	106床	199床	560床
DPC分類	標準病院群	標準病院群	特定病院群
機能	回復期病床	一般急性期 (地域包括、緩和)	高度急性期
肝になる入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料1	急性期一般入院料4 地域包括ケア病棟入院料1	急性期体制充実加算
外来患者数	-	300	1072
病床利用率	100	77	86
平均在院日数	-	9.9	8.1~8.8
手術件数	0	1735	5976
手術件数全身麻酔	0	-	4637
紹介率	6.7~5.0	約50%	75.2
逆紹介率	0~25	約50%	137.4
救急車搬入/年	-	1396台	6527台



サルビアネット参加数 (2024.4.1現在)

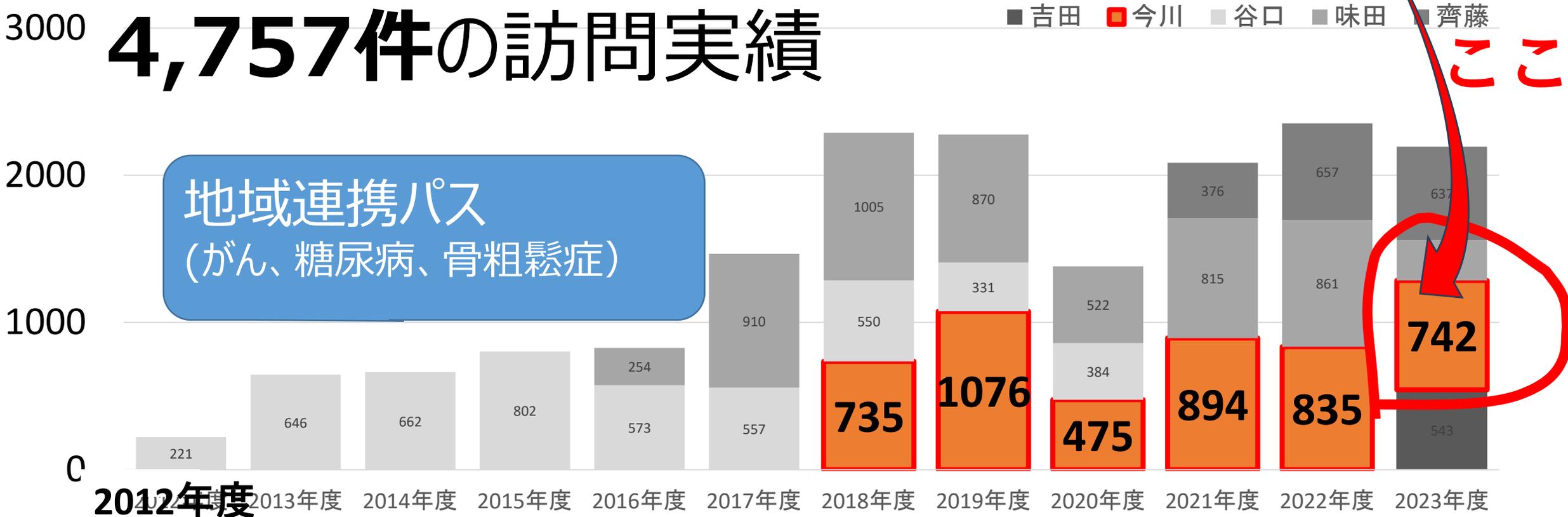
- 登録者数
16309人
- 参加施設数
192



【目的】

薬局訪問を積極的に開始した 2023 年度実績を解析した。
そして、アフターコロナでの地域連携の担い手としての薬局の役割を考察した。

地域連携の渉外業務に注力する医療機関（含、薬局）が増えてきている。その活動は、ファクトベースでの情報共有が大切になる。済生会病院で、専従の渉外担当者として 6 年間の行動実績4757件である。



【方法】

毎日院内報告している行動日報で、面談内容を分析、検証した。

タイムリーな情報共有

～苦情等も漏らさず伝達する～

- ① 医療連携室長に報告 **毎日**
- ② 患者サポーターセンターでの共有 **毎日**
- ③ 院長面談 **毎週**
- ④ 医局会での共有 **毎月**
- ⑤ 開業医にフィードバック **1週間以内**



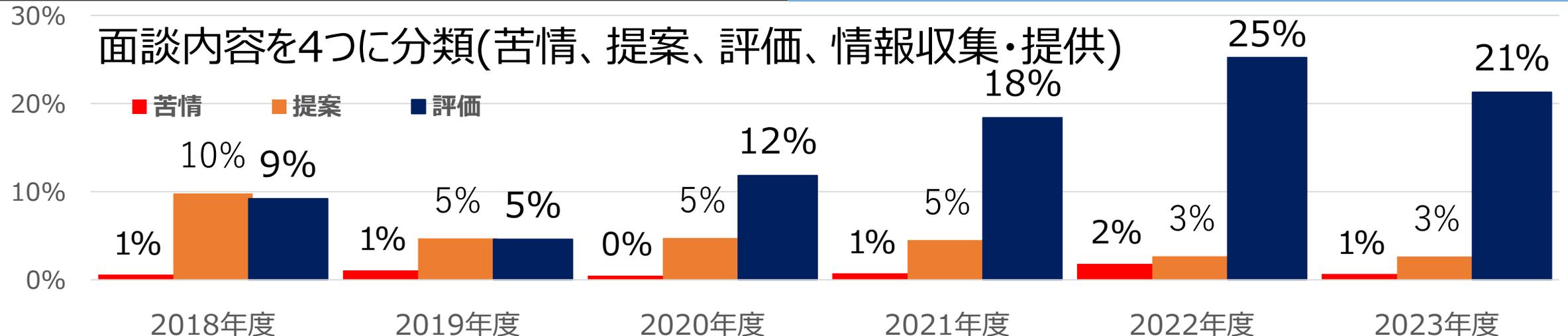
私の仕事（渉外担当者）

- ・開業医を中心とした医療機関からの**情報収集**
- ・病院からの広報等、**情報提供**
- ・苦情・提案等の課題抽出・関係部署への共有・**解決策**へ
- ・開業医への改善策の報告、**連携強化**

タイムリーで、確実な、情報提供と情報収集に繋げる

※患者サポーター：医療連携室、患者支援室、医療福祉相談室、在宅診療支援室

第25回日本医療マネジメント学会発表2023.6.23スライド

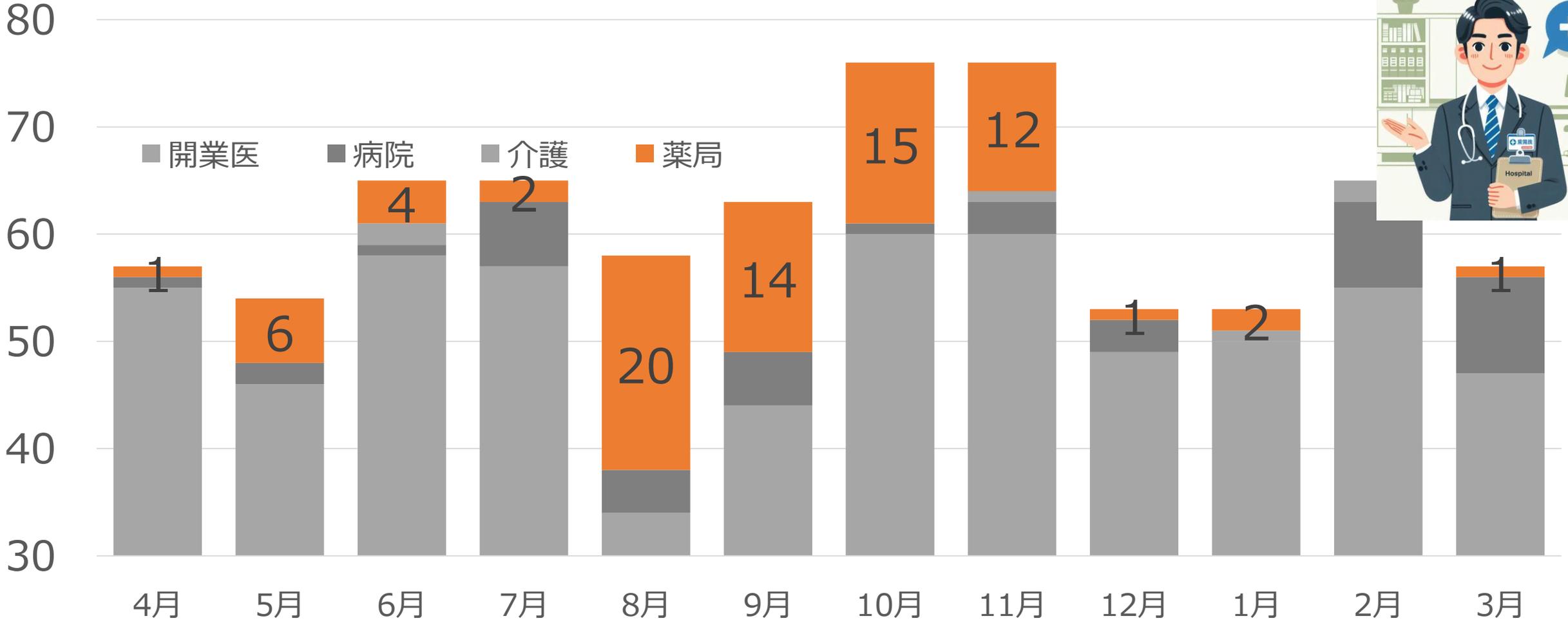


【結果-1】

医療機関には742件訪問し面談した。

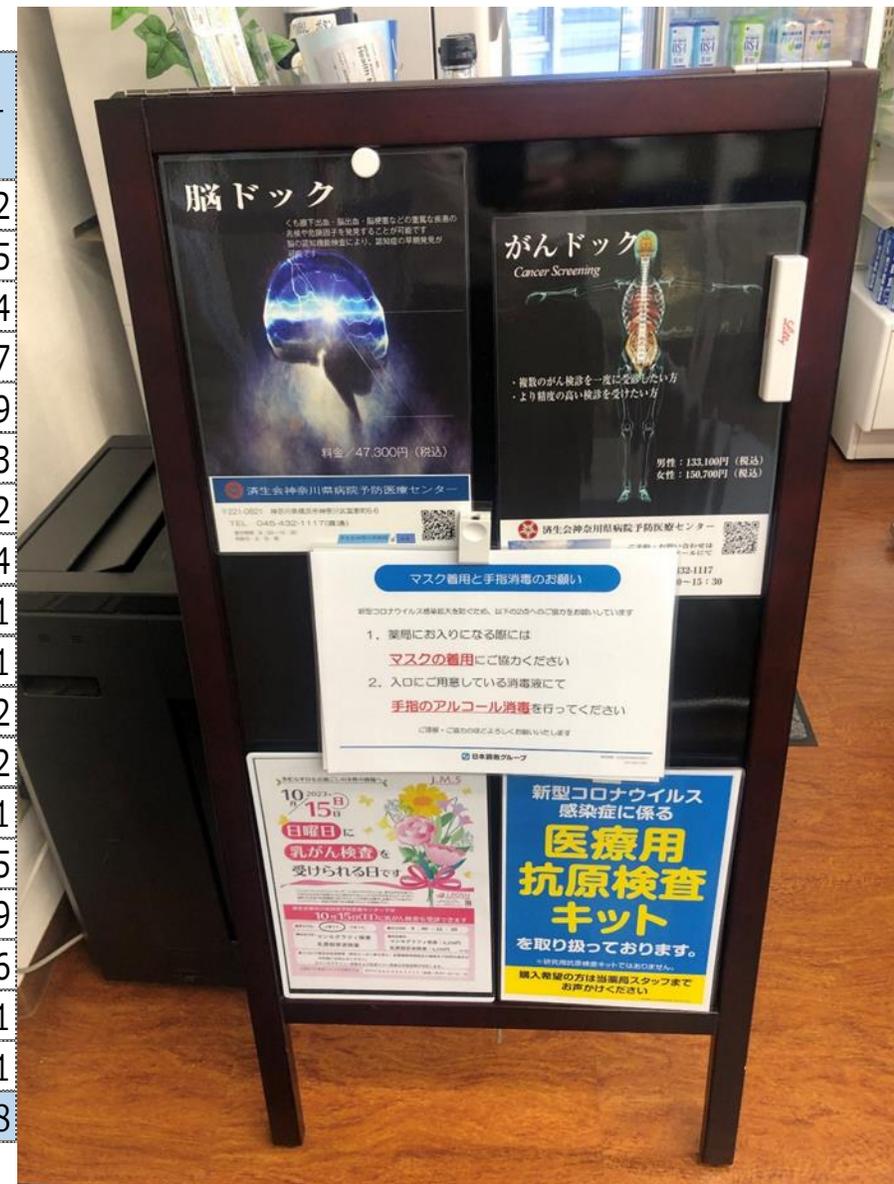
薬局訪問は78件であった：健診センターのポスター設置依頼。

(17軒)



薬局 17軒訪問し10軒ポスター設置 ご支援頂きました。

施設名	ポスター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
SI薬局子安店	×					1			1					2
SO薬局 神奈川新町店	×					2	1	1	1					5
NA薬局	○					1	1	1	1					4
HI薬局 東神奈川西口店	○		1	1		1	1	1	2					7
HI薬局 東神奈川店	○		2	1		1	1	1	3					9
HI薬局 反町店	○					1	1	1						3
PO薬局	○					1	1							2
KS薬局	○	1	1				1	1						4
YA薬局	×					1								1
II薬局	×							1						1
I薬局	×						1	1						2
YO薬局	×					1		1						2
N薬局星川店	○					1								1
N薬局新子安店	○				1	2	2							5
N薬局鶴屋町	○		1	1		1	2	1	2		1			9
N薬局東神奈川	○		1	1		3	2	5	2	1	1			16
N薬局本部、本社	○				1	3								1
K薬局	×												1	1
合計		1	6	4	2	20	14	15	12	1	2		1	78



御礼♥薬局内に掲示頂きました♥健診ポスターを 10軒中7軒のコメント

薬局名	評価コメント（面談内容を箇条書きにしています）
H薬局 東神奈川店西口店	患者さんが、よく、ポスターを見ていますよ。 追加でパンフレットは頂きます。
N薬局 新子安店	私の裁量で、新〇〇店、東〇〇〇店、鶴〇町店、〇谷店には対応するよう指示しておきます。 特に、〇谷店には、管理栄養士も常駐していますので、頑張ります。 目指すべき姿は、各店舗の薬剤師が、相談があったときに、 「病院の健診センターには、〇〇のメリットがあります。例えば：院長、副院長等の幹部の先生方3人体制で対応されている」 「健診から、治療まで、切れ目のないサポートが受けられますよ」等の アドバイスが出来ますね。
H薬局 東神奈川店西口店	〇乳がん検査案内：がんドック、脳ドックのポスターは結構患者さん見えていますよ。やっぱり薬局関心があるのでしょうね。 予約枠80で、すでに47枠も詰まっていると言う事は、やはり人気があるんですね。
N薬局 東神奈川	〇乳がん検査(10/15)案内：すでに80人分の48枠詰まっている。人気ありますね。 もうポスターにして入り口に貼ってあります。 〇東リハ病院：嚥下外来も実施されている。初めて知りました。
KS薬局	〇市民公開講座10/8(主催：神奈川区医師会)『あなたの足は大丈夫？～水虫の話～』 〇オレンジPJ2023講演案内：ポスターが一番目立つ道路側に掲示しますよ。 〇110周年：早いですね、100周年はVIPも出席されていましたね。 〇処方箋が減って困っています。隣接CLは、かつては、済生会病院並みの処方箋枚数でしたが、激減です。
H薬局 東神奈川店	〇フェスタなでしこ案内110周年：反町の区民祭りが盛況で、薬剤師会の〇〇先生も好評との事。了解です。掲示しておきます。 〇乳がん検査(10/15)案内は20部の内 14枚は患者が持って帰った。驚きです。関心が大きいですね。
N薬局 東神奈川	ポスターは引き続き、東神奈川店、鶴屋町店2店舗は、 継続していきましょう。 市民公開講座のポスターもありますね。



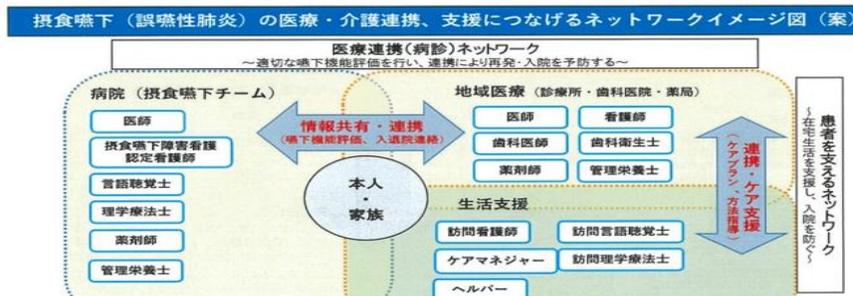
【結果-2】

一方、地域の多職種連携の会に積極的に参加される薬剤師の存在も知ることができた。その中で、摂食嚥下活動の多職種連携の会※に訪問薬剤師が参加頂き、会議に厚みが増した。

令和6年度
疾患別医療・介護連携事業内容について

横浜市医療局がん・疾病対策課

摂食嚥下をテーマにしたイメージ



事業概要

【目的】

高齢者に多くみられる糖尿病、心疾患、摂食嚥下、緩和ケアなどの課題について、医療・介護に携わる人材の対応力向上と連携の強化に向けたネットワークづくりを進めること。

【対象者イメージ】

- ・元気な高齢者（外来診療）から寝たきりの方（訪問診療）まで介護保険の要支援・要介護認定のある方、またはそれに準じる心身の状態にある方
- ・将来において上記の状態になる可能性が高い方

【令和6年度実施期間】

令和6年5月～令和7年3月

多職種からの声を聴く～摂食嚥下～

**退院時カンファにも
参加してみたい**

在宅部門関係者も、
摂食嚥下・口腔ケアについての
知識や認識がまだまだ低い

最後まで自分の力で食べるこ
とは、理想的な環境では？

済生会に協力します。
いろんな提案をしてください。



栄養士

歯科医

病院長
訪問看護師

摂食嚥下外来の
外来に立っています。
遠慮なく・・・

医師会長
神奈川区



寺見さん

摂食嚥下認定看護師
第一号 寺〇さん
レクチャー

どの施設の、
どの職種に
相談していいの？

薬剤師

地域版NSTのよう
な活動ができないか



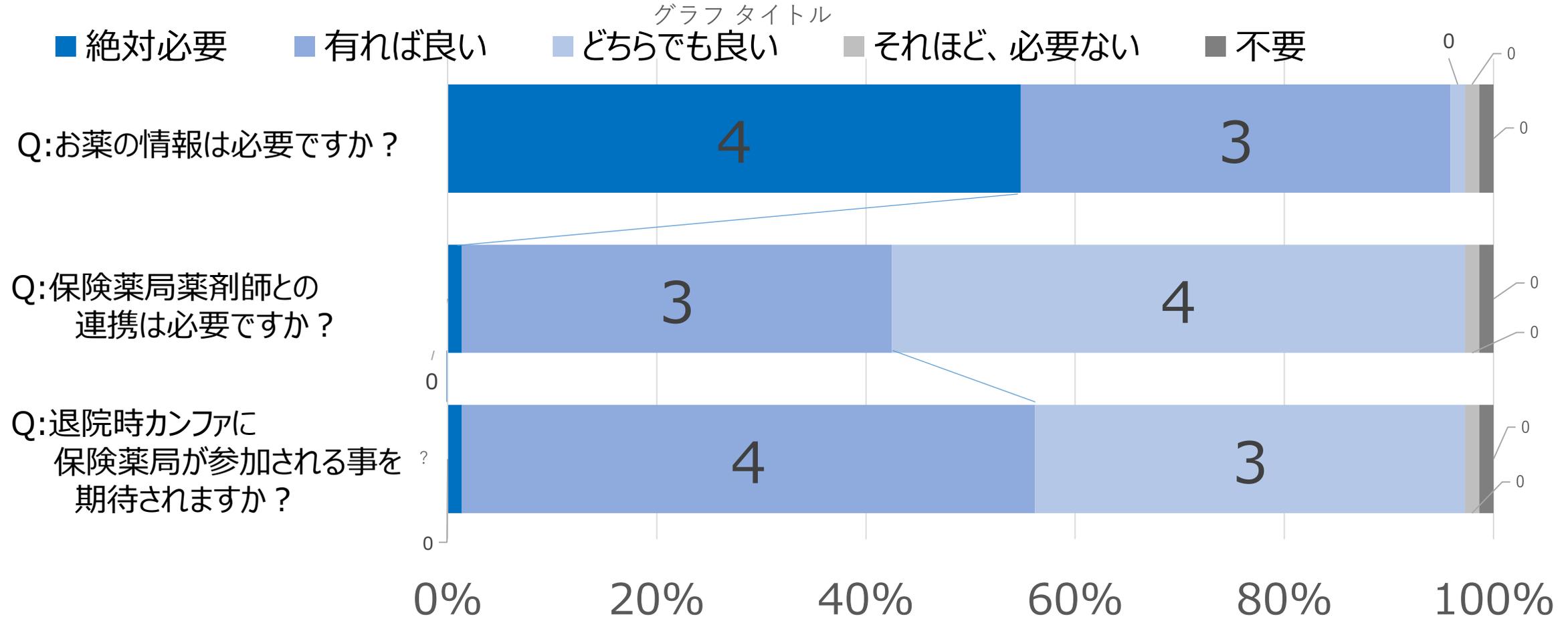
医師会
副会長横浜市

ケアMG
歯医者



保険薬局との連携について

～当病院 退院支援スタッフに聞きました n=7 ～



【考察】

コロナ後、渉外担当者が、医療機関に直接訪問、面談する事で、タイムリーな情報提供・収集はスピード感をもって実施出来る。

摂食嚥下、糖尿病、心不全、緩和のそれぞれのテーマに薬局、薬剤師の役割は必須である。その中、薬剤師による服薬指導の重要性を薬剤師以外の職種に浸透するように勤める事も大切である。渉外活動を拡大し、薬局、介護施設、病院への訪問にも注力している。

横浜市神奈川区にも多数の薬局が散在し、どの薬局と取り組めば良いか模索しながら、進化させていきたい。

【追記】

○退院支援チーム(後方支援)MSW※、看護師の気持ちを汲み取ることも必要

※メディカルソーシャルワーカー

○医療ICTの活用、サルビアネット

訪問看護師：『病院医師の治療状況も把握することが出来る。

患者さんの生活に合った、相談が可能です。』